

議会質問

健康福祉委員会

(平成26年12月12日)

◆(仮称)仙台市ひとり親家庭等安心生活プラン

中間案(第3期:平成27年度~平成31年度)について

質問: 本市のひとり親家庭の現状は、世帯数が年々増加して

おり、特に母子家庭が増えている。平成24年の年間労働収入が200万円未満が母子家庭の場合65.3%と高くなっている。依然として経済的安定の課題が大きくなっている。この課題解決のため、さらなる就労支援の取り組みを伺う。

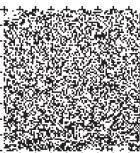
答弁: 相談者の状況や抱える課題に応じ、自立目標や支援内容を策定し、寄り添って継続的に支援していく「自立支援プログラム策定」事業を実施してまいります。

質問: 就労支援の相談窓口である母子家庭相談支援センターでの相談件数は、平成25年度で248件中、就業実績は、常勤・非常勤・パートを含め26件となっており、まだ実績数としては少ないが、就業につながらない原因を伺う。

答弁: 原因の分析は十分でない状況です。一つには、就業しようとする親御さんと企業の思いのマッチングが十分できていないこともあろうかと思いますが、原因については、課題として検討ていきたいと考えています。

◆その他の質問項目

- 第2期(平成22年度~平成26年度)計画の総括と評価。
- ひとり親家庭相談支援センターの現状とハローワークとの連携。
- ひとり親家庭の生活保護世帯数の推移と自立に向けての就労支援の取り組み。
- 病児・病後児保育施設の整備について。
- ひとり親家庭の支援制度のさらなる周知。



第1回・第2回歩行喫煙等防止条例検討会議 開催

(平成26年12月8日・12月24日)

仙台市議会政策担当者会議において、(仮称)歩きたばこ及び吸殻等のポイ捨て防止に関する条例に係るワーキンググループを立ち上げることになり、鈴木広康座長(公明党)のもと、各会派の代表1名で構成された計8名のメンバーで、昨年12月に2回検討会議を開催しました。仙台市これまでの取り組みは、平成15年から市内中心部9か所を「歩行禁煙モデルストリート」として設定したり、「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」を平成11年に制定し、市民協働で行っており、一定の成果はあるものの、さらなる取り組みが必要であることから、条例制定に向けてスタートしました。これまで我が会派では、積極的に推進しており、会派の代表として、さらに議論を深め、しっかり取り組んでまいります。

◇◇ 皆さまの声を力タチにしました!(実績抜粋) ◇◇

■湯元小学校の通学路安全対策



秋保町湯元のホテル瑞鳳第一駐車場付近のT字路に、安全対策としてカーブミラーと安全ポールが設置されました。ここは湯元小学校の通学路点検で危険箇所とされたところで、PTA役員の方から、「車の交通量が多く、児童の安全確保のため早急な対策を」とのご相談がありました。秋保支所建設課に申入れし、設置となりました。



■震災により地盤が下がり破損した秋保工芸の里敷地内の歩道等修繕

平成25年第1回定例会の予算等審査特別委員会において、後継者の育成、敷地内の整備、工房の工人の魅力発信などPR活動の拡充を求めました。今後も秋保地域の活性化のため取り組んでまいります。



秋保工芸の里組合長はじめ、秋保工芸の魅力を発信しているアリティーヴィー(インターネットテレビ局)の皆様と



平成26年4月に開設した秋保工芸の里案内所

■西多賀2丁目8付近の木流堀川側のガードレールの修繕

近くに西多賀小学校があり、児童や住民の通行に危険があるとのお声を頂き、太白区道路課に申入れました。

■人来田小学校の北側市有地の松の伐採・剪定

通学路に面しているため、引き続き太白区公園課に申入れし、平成26年度は、松の伐採は10本、剪定は20本行いました。

